

**虎の門病院 消化器内科では、
下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。**

【研究課題名】

内視鏡的寛解の潰瘍性大腸炎患者における1年以内のステロイド投与歴と再燃の検討

【目的】

この研究は、臨床的寛解（症状が消失した状態）、内視鏡的寛解（内視鏡的に大腸粘膜の炎症が抑えられている状態）を達成している潰瘍性大腸炎において、1年以内にステロイド使用歴のある患者さんと、1年以内にステロイド使用歴のない患者さんを比較して、ステロイドによる寛解導入療法を必要とする重篤な疾患活動性があったことが、その後に重篤な再燃のリスクが高いことを検証することを目的としています。

【対象】

2017年1月1日～2019年12月31日の間に当院において下部内視鏡検査を実施した16歳以上の潰瘍性大腸炎の患者さん。2019年12月31日までの情報を調査対象とします。

【方法】

この研究は多機関共同研究です。

診療記録より虎の門病院 消化器内科 松井啓が情報を収集し、調査票へ入力します。入力した調査票は研究事務局（横浜市立市民病院 消化器内科）で保管され、集計・解析されます。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。診療情報の持ち出し先：横浜市立市民病院 消化器内科 福田知広先生にパスワードをつけた調査票をメールで送ります。

【利用する試料・情報】

診療記録（生年月日、性別、潰瘍性大腸炎診断日、喫煙歴、内視鏡検査施行日、罹患範囲、PRO2 score（排便回数、直腸出血）、治療歴、ステロイド開始日、下部内視鏡検査所見、血液検査所見、病理組織学的寛解の有無、再燃の有無 等）

【研究期間】

2021年12月2日～2025年12月31日まで

【研究代表者・研究事務局】

横浜市立市民病院 消化器内科 福田 知広

【研究機関】

横浜市立市民病院 福田 知広、北里大学北里研究所病院 宮谷侑佑
名古屋大学医学部附属病院 澤田 つな騎、東京慈恵会医科大学 澁谷 尚希
順天堂大学医学部附属練馬病院 福生 有華、東邦大学医療センター佐倉病院 松岡 克善

【虎の門病院における研究責任者】

虎の門病院 消化器内科 松井啓

【連絡先】

〒105-8470 東京都港区虎ノ門 2-2-2 虎の門病院 消化器内科 松井啓

電話 03-3588-1111 (病院代表)

この研究の対象となる患者さんまたはその家族の方で本研究への参加を希望されない方は、2022年2月28日までに上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる患者さんに不利益が生じることはありません。

また、この研究の対象となる患者さんまたはその家族の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。